

陳 情 文 書 表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第41号（5.11.24） 来年度以降もUNITYを継続して使用することを求める陳情
陳情の要旨	1. 2024（R6）年度以降も、UNITYで子供食堂の活動を続けられるようにすること。 2. UNITYが神戸市に返還された後は、より地域住民に使いやすいコミュニティーの場となるよう、地域へのPR活動、セミナー室等の予約時期など整備すること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市西区 みんなの子ども食堂 にじいろ 木場 佳壽子
送付委員会	総務財政委員会

神戸市議会議長 坊やすなが 様

神戸市の施設 UNITY の閉鎖で子ども食堂の存続がピンチに！
来年度以降も UNITY が継続して使えるよう陳情いたします。

団体名:みんなの子ども食堂 にじいろ
連絡先住所:神戸市西区
電話番号:
代表者氏名:木場佳壽子

私たち「みんなの子ども食堂 にじいろ」は、神戸市西区学園西町にある UNITY を会場に、近隣大学の学生さんとともに子ども食堂を毎月1回運営しています。

10月2日、まったく唐突に今年度で UNITY を閉鎖するとの張り紙が出されました。非公式ながら確認した情報では、これまで UNITY を運営してきた神戸研究学園都市大学交流推進協議会には老朽化した UNITY の維持管理が大きな負担になっており、これ以上は財政的に持ちこたえることができないので神戸市に返還することにしたとのこと。一方で返還を受けた神戸市は今後 UNITY をどうするのか、まだその方針も計画も何も決まっていな

と伺いました。
私たちの活動は昨年度から始めてちょうど1年ですが、回を重ねるたびに参加者が増えて、今では30名以上に毎月利用していただいている学園都市エリアでただ一つの子ども食堂です。今年度は神戸市の子ども居場所づくり活動助成を交付していただいております。

活動を始めるまでは私たち自身も「本当にこの地域に子ども食堂を必要としている子どもがいるのだろうか。」と不安でした。が、実際には子育て中のお母さん方が「学生さんに子どもの遊び相手になってもらいながら、こうして一息つけるのがうれしい。」「同じ境遇のお母さんたちと話せるのがうれしい。」と、親子で来られ、また姉妹で利用する小学生のお母さんからは「シングルマザーなのでとても助かってる。」と感謝の言葉をいただきます。SNSで私たちの活動を知った市内の高校生からは「《探求》の授業の一環として子ども食堂でボランティアを体験したい。」との申し出をいただき参加していただきました。また、「ここで子どもたちと遊ぶことで元気をもらっています。」とのご年輩の男性もおられ、学園都市エリアでの子ども食堂に寄せられる世代を超えた多様なニーズや期待を実感しています。

UNITY が駅前の好立地にあるおかげで、地下鉄やバスを使って来てくださる参加者の方もおられます。もちろんボランティアの学生さんに授業後に気軽に参加していただけるのも、UNITY が大学と地域との交流の拠点として設けられた施設だからです。

学園都市は、人口約2万人、昼間人口3万人の決して小さくない町ですが、名谷や西神中央といった近隣の町にある文化センターのようなコミュニティの拠点がありません。学園西町、学園東町にそれぞれ地域福祉センターがありますが、どちらもすでに利用団体が多く、また、現在の私たちの活動時間である午後5時以降は利用できないルールとなっています。このように、UNITY が閉鎖されてしまうと、私たちには他に学園都市エリアに活動の場がなく、活動を休止せざるを得ません。

UNITY は学園都市エリアの大学生と市民が共同して地域活動を行える場としてなくてはならない場であり、私たちだけでなく地域住民にとっての数少ないコミュニティを育てる場です。

【陳情項目】

1. 2024(R.6)年度以降も、UNITY で子ども食堂の活動を続けさせてください。
2. ~~地域住民が UNITY をコミュニティを育てる場として利用できるよう、整備してください。~~

神戸市議会議員の皆さまにはこのような学園都市の実情をご賢察いただき、なにとぞお力添えをくださいますようお願い申し上げます。



みんなの子ども食堂 にじいろ
Instagram: https://instagram.com/nijairo_for_all

2. UNITY が神戸市に返還された後は、より地域住民に使いやすいコミュニティの場となるよう、地域へのPR活動、セミナー等の予約時期など、整備してください。
みんなの子ども食堂 にじいろ
代表 木場 佳壽子